

ことばの学び

Number
22

伝える

古典の魅力を



ESSAY 物語とテストの狭間で 武田綾乃

特集 古典の魅力を伝える

- 生き残った古典 青島麻子
- 古典の世界と生活を結びつける導入授業 中條敦仁

授業アイデア 〈リテラチャー・サークル〉でひらく古典の扉
～「竹取物語」を通して〈問い〉をつむぐ～ 小峰隆広

物語とテストの狭間で

武田綾乃

小説を書く仕事をしていると、「あなたの作品の一部を入試問題に使用してもらいました」という知らせが年に何度か届く。テスト用紙が同封されているときもあり、どれどれ……とワクワクしながらシャーペンを握って解いてみる。大人になってからはテストを見る機会がめっきり減ったため、問1という文言を見るだけで何だか懐かしい気持ちになる。そうそう、現代文の問題ってこうだった。

私は小学生の頃から読書が好きだったが、国語の成績は大抵5段階評価で「4」止まりだった。選択問題は解けるのに、記述問題になると途端にダメになってしまう。解答用紙にバツがついているとそれだけで気落ちしてしまつて、私はテストが嫌いになった。文章を読む力はあ

ち言葉を使い換えていたら、物語の世界に没頭しきれない。けれど、文章を咀嚼して自分なりの言葉に置き換える力は、日常でも役に立つ。どちらの力も使いこなすことができたなら、きっと人生はより豊かになる。

そんなことを考えながら、私は自分の書いた小説が使われているテストの問題を自信満々に解いていく。小説家となった今なら、どんな問題でも余裕だろう。——そう思つて、いよいよ答え合わせをしようとしたところで、解答が同封されていないことに気がついた。

まあ、そういうときもあるよね。そう自分に言い聞かせながら、私は答案用紙に頭の中で花丸を描いた。

正解のないテストも、偶にだったら悪くはない。

るはずなのに、どうして丸をもらえないんだろう。

そのまま中学生になり、塾で『風がぴゅーぴゅー歌っている』とはどういう状態でしょう?』という問題に出会った。私は意味がわからなかった。だって、「風が歌っている」と書いてある。そのままの意味に決まっている。

模範解答は、「風が音をたてて吹いている状態」だった。えー! それはどういう状態かを答えているわけじゃなくて、ただ言い換えをしているだけじゃない? そう思ったときに、私の脳に電流が走った。そうか! 国語の問題って、日本語を別の日本語に言い換える作業なんだ。それを理解してからは、私の国語の成績は飛躍的に伸びた。

そして気づいた。「読書を楽しむこと」と「テストを解くこと」は全くの別物なのだ。小説を読むときにいち

Profile
作家

ただだ・あやの 1992年京都府の生まれ。2013年『今日、きみと息をする。』(宝島社文庫)でデビュー。『響け! ユーフォニアム 北宇治高校吹奏楽部へようこそ』(宝島社文庫、2013)はアニメ化され人気シリーズに。『愛されなくても別に』(講談社文庫、2023)で第42回吉川英治文学新人賞を受賞。他の著書に『青い春を数えて』(講談社文庫、2021)など。

TAKEDA AYANO



古典の魅力伝える

生き残った古典

聖心女子大学准教授 青島麻子

そもそも「古典」とは何でしょうか。『日本国語大辞典』(小学館)では「古典」を、「すぐれた著述や作品で、過去の長い年月にわたつて多くの人々の模範となり、また愛好されてきたもの」と説明しています。「模範」といっても、必ずしも古典文学全てを高尚なものと思ふ必要はないのですが、評価が定まってい

くのはこれからであろう現代文学とは違い、「古典」は、既に数百年、時には千年以上の時を経て生き残ってきた作品であることは心に留めておいてほしいと思います。

中学古典の最初の教材である『竹取物語』は、教科書では「日本で最も古いといわれている物語」(令和7年度版『現代の国語1』三省堂)と解説されています。より正確にい

ば、「現存する中では日本で最も古いといわれている物語」です。例えば『源氏物語』(蓬生巻)には、末摘花という古風な姫君が愛読する古物語として、「かぐや姫の物語」(『竹取物語』)と並び「唐守」(『源氏物語』)とい

う作品名があげられています。これらを『竹取物語』よりも古いと推定する説もあるのです。「唐守」「貌姑射の刀自」のように、名前のみが伝わり、現在では残っていない物語のことを「散逸物語」と呼びますが、現存する物語がわずかに五〇編ほどなのに対して、散逸物語はなんと二〇〇編以上もあるとされています(『日本古典文学大事典』「散逸物語」(三角洋一執筆)「明治書院」)。

散逸の主因としては、長い時間の中で、災害や戦乱により消失したという物理的な事情もあげられるでしょう。ただし、近世になつて広く印刷が普及するまで、物語は人の手で書き写され流布していたことを考慮に入れると、現存する物語には生き残るだけの理由があったともいえるのです。つまり、『竹取物

Profile

あおしま・あさこ 静岡県の生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士(文学)。聖心女子大学准教授。平安朝物語文学に描かれる婚姻について研究している。著書に、『源氏物語 虚構の婚姻』(武蔵野書院、2015)、『学びを深めるヒントシリーズ 源氏物語』(明治書院、2019)などがある。

AOSHIMA ASAKO



語」が「現存する中では日本で最も古い」ということは、多くの人々によって繰り返して書かれ続け、物語としては最も長い時代を生き残った作品ということでもあるのです。

現在まで生き残った数少ない古典作品とは、既に時の流れというふるいにかけられた選りすぐりの作品だといえます。おびただしい情報にあふれる現代だからこそ、何を讀もうか迷ったら古典文学を手にとってみるのはいかがでしょうか。その作品がなぜ生き残り、「古典」として今に伝えられているのか、ぜひ生徒とともに考えてみてください。

古典の世界と生活を 結びつける導入授業

皇學館大学教授 中條敦仁

一三歳から一九歳のスマートフォン所持率は、八八・八％（総務省『令和5年通信利用動向調査』）で、主な用途は、①動画を見る、②音楽を聞く、③検索する、④投稿やメッセージの交換である。中学生の生活の中心は、自身の興味に限定された視聴覚情報と会話調の文字情報で構成されている。また、古典は、語句や表現、文法・句法、時代背景など知らないことだらけで、生徒は、日本語学習ではなく、英語と同様の語学学習と認識している。いずれにしても、生徒からすると、興味の範疇に古典は入らない。

興味づけの鍵

では、どのように興味づけをすればよいのか。そこで、英語学習に積極的な生徒の学習の動機を探ってみた。すると「海外に行ってみたい」「外国の方と英語で話したい」「映画・音楽・アニメを英語で視聴したい」などがあげられ、中学生の生活の範囲にある文化との

接点を探ることが鍵となることがわかった。また、冒頭に示したスマートフォンの用途からは、「視聴覚情報の活用」「会話調の短文表現の活用」も重要な鍵となる。

令和7年度版『現代の国語（三省堂）』では、中学生に身近な現代的なタッチの表紙絵や挿絵を採用した。これは「生活の範囲の文化」と「視覚情報」を利用した手立てである。例えば、一年「竹取物語」の挿絵は、従来絵巻を使うことが多かったが、アニメ化された『鳥は主を選ばない』（講談社）をはじめとする阿部智里さんの「八咫鳥シリーズ」のイラストを手掛けた名司生さんの描き下ろしの挿絵とした。中学生に馴染みあるイラストを添えることで、中学生の生活の範囲にある文化と古典とを結びつける例である。

興味づけの導入例

左ページに、「竹取物語」の冒頭部（「今は昔、竹取の翁といふ者ありけり。……」）を対象に、挿絵を活用した導入例を示す。また、アニメを活用した導入も考えられる。冒頭部「今は昔、竹取の翁といふ者ありけり。……いとうつくしうてゐたり。」を現代語訳とともに読んだあと、スタジオジブリ『かぐや姫の物語』の冒頭部分を視聴する。視聴後

に、次の主発問を考えることで興味喚起を促したい。

1 発問

「教科書で読んだ冒頭八行分「今は昔、……いとうつくしうてゐたり。」の内容を、スタジオジブリの『かぐや姫の物語』では映像で見たように表現していました。監督の高畑勲さんは、視聴者にどのようなことを考えたり、感じたりしてほしくて先ほどのような映像や音楽にしたのでしょうか。想像してみましょう。」

2 学習の流れ（1時間程度）

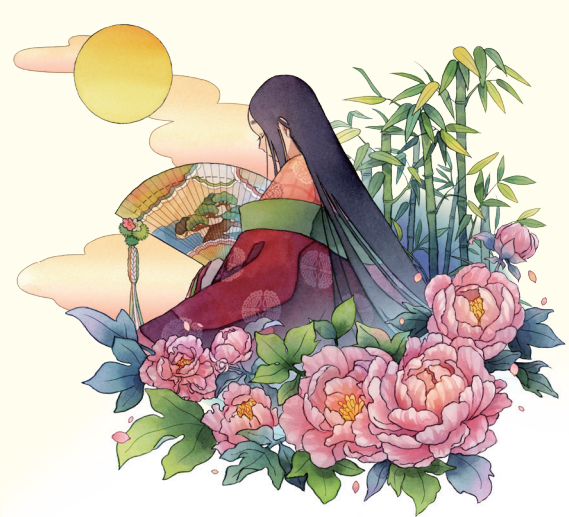
- 教科書の冒頭八行を音読し、内容のだいたいをつかむ。
 - スタジオジブリ『かぐや姫の物語』の最初から三分五〇秒までを視聴する。
 - 1に示した発問をする。
 - 再度、当該箇所を視聴して、製作者の意図に思いをはせる。
- これは、中学生に身近なアニメの視覚・聴覚情報を原文に結びつけて興味をもたせる方法の一つである。

サブカルチャーというフィルター

他にも、「源氏物語千年紀Gengi」、「平家物語」、「キングダム」、「風の谷のナウシカ」

挿絵を手がかりとした古典の導入例

〈挿絵A〉



【学習の流れ】（1時間程度）

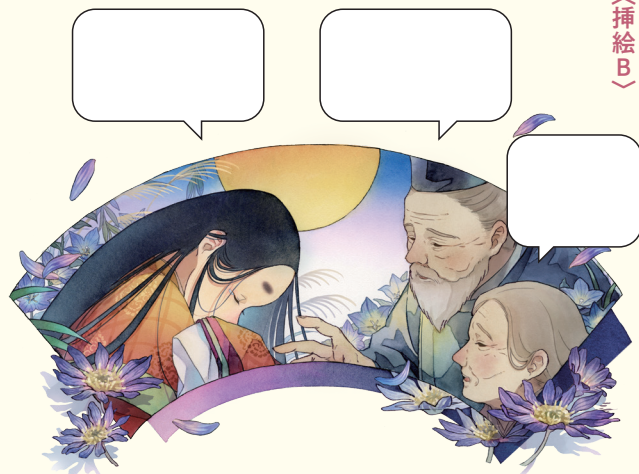
- 挿絵Aからその時代にかかわる情報を個別で自由に読み取り、その結果をペアや班活動で共有したり、全体で共有したりしながら、古典のもつ雰囲気を感じる。
- 『竹取物語』の漫画・アニメ（さまざまな出版社から出版されている）を活用し、ざっとストーリーを追うと同時に『竹取物語』の価値観や思想的なこと、雰囲気を感じ取る。
- 教科書に示された原文および現代語訳と漫画を比べて、視覚情報（絵）を中心とした漫画と文字情報を中心とした教科書の違いを考え、箇条書きで書き出す。
- 1から3から、漫画やアニメのような映像を頭の中で描きながら読むと古典も楽しいことを知る。

①の生徒反応例

- 着物を着ている。
- 月が描かれている。
- 竹取物語だから、竹が描かれている。
- 金色の豪華な扇子を持っている。
- 扇子に松が描いてある。松は不老長寿の象徴らしくて、かぐや姫の寿命に関係あるのかも。
- きれいな花（牡丹）が描かれている。
- 牡丹は、高貴・富貴・幸福の象徴。
- 高貴な姫のよう。お金持ちかも。
- 色使いが明るくて華やか。
- 髪がかなり長い。

本文の挿絵を活用した気持ちの読み取りも可能である。挿絵Bのかぐや姫、翁、姫に吹き出しをつけ、場面にあったセリフを考え、それぞれの気持ちを推し量る方法である。

〈挿絵B〉



絵・名司生（『現代の国語1』より）

Profile

ちゅうじょう・あつし 皇學館大学教育学部教授。「ことば」にこだわり、教材の味を最大限に引き出すための「素材研究」を行い、常に楽しみながら児童・生徒の思考・判断を揺さぶる発問を考えています。



CHUJO ATSUSHI

（モチーフは『堤中納言物語』『虫めづる姫君』）など、興味づけに使えるアニメや漫画は多い。『超訳百人一首うた恋い。』は、和歌の現代語訳がSNSで使用する文体に近く、会話調の短文表現として興味をそえられる。また、古典的な要素をもつ邦楽もあり、米津玄師『死神』は、古典落語「死神」をモチーフにしている。大河ドラマ「光る君へ」や「全領域異常解決室（日本神話の要素をもつ）」などのドラマもある。生徒の生活の範囲にある文化、視聴覚情報には、古典の世界と結びつけるに十分なものがあふれている。

古典学習に進んで取り組む中学生は、原文を中心とした読みでよい。ただ、古典離れが加速する中にあるのは、思いきって中学生の生活の範囲にあるサブカルチャーというフィルターを通して、古典を見つめることも必要な手立てとなろう。

授業アイデア

1 年

〈リテラチャー・サークル〉でひろく古典の扉 「竹取物語」を通して〈問い〉をつむぐ

世田谷学園中学校高等学校 小峰隆広

授業の流れ【全5時間】

指導事項「1年」(3)ア・(C)イ

第1時

「竹取物語」を読み、五人程度のグループで感想を共有する。LCの説明をもとに、役割分担を行う。

※ 今回の授業までにZENK for SchoolのTomin.ボックス『竹取物語』scene01までを視聴しておくことを課題とする（『現代の国語1』の二次元コードのリンク先からも視聴できる）。

第2時「本時」

導入

本時の学習の見通しをもつ

▶ 本時に読解する範囲（冒頭～貴公子たちの求婚）と、グループ内で自分が担当する役割について確認する。

展開1

役割に基づいて本文を読解する

▶ それぞれ役割の観点から、本文を読解し、役割シートの「自分の考え」欄を完成させる。

指導上のポイント

- ・ LCでは、「よくわからないところ」「みんなの意見を聞いてみたいところ」「ひっかかりを感じるところ」をたくさん見つけることが大切であると声がけする（イラストレーター役もイラストが上手である必要はない）。
- ・ 教員が各グループを回りながら、問いのヒントを示してもよい（例：『竹取物語』と似たような構造の話は他にあるか、かぐや姫の成長速度は何になぞらえられているか、など）。

展開2

グループ内で話し合う

▶ 役割ごとに読解した成果を共有し、グループ内での質疑応答を通して〈問い〉を発見し、深める。

生徒の学習活動例

- ・ イラストレーター 竹取の翁が竹の中にかぐや姫を見つけた場面を提示
- ・ リテラリー・ルミナリー 「あやしがる」「うつくし」「ある」などの古語の仮名遣いや意味について調べたことを紹介し、「野山にまじりて」という表現のおもしろさについて発表
- ・ クエストヨナー 自作の問題を出題（問題例「かぐや姫は五人の貴公子たちに『この世に存在しない物』を求めましたが、なぜそんな無理な条件を出したのでしょうか。根拠となる箇所を引用して答えてください。」）
- ・ コネクター 「登場人物が外の世界からやってきて再び外の世界（元いた世界）へ帰っていく話」として、現代の映画や漫画、アニメーション作品などを紹介
- ・ リサーチャー 「竹取物語」の成立年代やジャンル、文学史的な位置づけについて発表

まとめ

グループ内で話し合った内容をまとめる

▶ 本時で明らかになったことや、次回以降に持ち越される疑問点を整理してGoogle Classroomなどで共有する。次回のLCの役割分担を行う。

▶ 役割シート（ワークシート）はグループごとにファイリングし、誰でも見ることができるよう学級文庫の棚に置いておく。

※ 今回の授業までにZENK for SchoolのTomin.ボックス『竹取物語』scene03までを視聴しておくことを課題とする。

第3時

前時の内容（成果・課題）をふまえて、新たな役割のもと二回めのLCを行う。

第4時

役割ごとに集まって専門家会議を行い、その成果をふまえて三回めのLCを行う。

第5時

各自の〈問い〉に基づくまとめのミニ・レポートを作成。本単元での学びを振り返り、内容を総括する。

★ 授業時数に余裕があれば、図書室でのリサーチの時間を入れてもよい。

この授業について

リテラチャー・サークル（以下、LC）は、アメリカで一九九〇年代に広まった読書指導法で、一つの文章や本について子供たちが小さなグループで語り合う学習活動です。LCの特徴は、子供たちがこれまでの読書経験や、新たに調べたことなどをテキストに結びつけ、自発的に意見交換をすることによって、互いに学びを深めていく協同性にあります。LCには、役割分担を行うもの（H.Daniels, 2002）と、行わないもの（J.Day et al, 2002）がありますが、本実践では、子供たちの取り組みやすさを考慮して、前者の授業方略に基づいて単元を構成しました。

★ 推しポイント！

役割に基づいて作品を分析し、〈問い〉を共有・洗練させて引き継いでいく

LCは一人読みのワークとグループでの話し合いとによって構成される学習方略です。一人読みは一人一役で、一回の授業ごとに役割を交換します。本実践では、生徒たちが自分の役割の内容を確認しながら取り組むことができるように「役割シート」を用意しました。「役割シート」には、自分の意見や疑問を記入する欄と、グループのメンバーの意見を記入する欄を設

どのグループにも必ず置きたい役割	本やグループによっては置きたい役割
● コネクター：自分とのつながりを見つける ● クエストヨナー：疑問を見つける ● リテラリー・ルミナリー：優れた表現などに光を当てる ● イラストレーター：浮かんだ情景などを絵にする	● サマライザー：要約をする ● リサーチャー：作者、テーマなどを研究する ● ワード・ウィザード／ボキャブラリー・エンリッチャー：特別な語を取り上げる ● シーン・セッター／パッセージ・マスター：場面、段落の特徴をとらえる

けました。LCの各回の終わりには、次回の役割分担とリフレクションを兼ねた〈問い〉の引き継ぎを行います。

月 日 ()

QUESTIONER (クエストヨナー/質問役)

第 ____ グループ ____ 期 ____ 番 氏名 _____

※ 各々の役割は、『竹取物語』を読んで、わからないところや他の人の意見を聞いてみたいところを見つけ、質問のあたりにて発表することです。

※ 役割する順番 ____ ページ ____ 行目 ____ ページ ____ 行目

1. みんなに聞いてみたいこと（ページと行数を明記すること）

2. グループ内で話した意見（誰の意見かもあわせてメモしてほしい）

【上図】役割シート（クエストヨナー）

【右上表】LC役割一覧（足立，2025 を参考に作成）

【参考文献】足立幸子「国際学力調査に基づく読書指導法の開発研究」『風間書房、二〇二五・二』

授業のまとめ

協同的な学習では、しばしば集団による問題解決が学習目標に定められます。しかしながら、生徒たちの話し合いをつぶさに観察していると、その営みが同時に「問い」を洗練させていくプロセスでもあることに気づかれます。

本実践では、生徒たちが話し合いの中から〈問い〉を発見し、それを引き継いでいくという学びのプロセスに注目しました。古典に近づくためのアプローチとして、LCは大変有効な方略であると実感しています。

三省堂教科書・教材サイトでも、「授業アイデア」をご紹介します。





国語学習の基盤となる情報を活用するスキルの育成 — 36のアイデア集 —

堀田龍也 監修 井出一雄 井元章二 編著

学習者が与えられた情報を理解し、自分なりに関係づけたり再構成したりして活用するスキルを、国語の授業でどのように育成するか。その実践案を36のアイデアとして見開き形式でわかりやすく提示。教科横断的な実践や、日常の場面における情報を活用する学びの方法も盛り込み、スキルの確実な習得をサポートする。

定価 1,870 円（本体 1,700+税 10%） / B5 判 / 96 ページ / 978-4-385-36340-0



認識力を高める授業

読みの解像度を上げるメカニズム

佐藤佐敏 著

文字記号を脳内で映像化する「認識力」を高めることにフォーカスした国語の授業づくりを、理論と実践の両面から追究した一冊。実践編では「少年の日の思い出」や「トロッコ」などを題材として取り上げ、前作『思考力を高める授業 作品を解釈するメカニズム』に引き続き、わかりやすく取り組みやすい授業提案を満載している。

定価 2,200 円（本体 2,000+税 10%） / A5 判 / 160 ページ / 978-4-385-36081-2

ことまな学校サポートサイトのご案内

ことまな学校サポートサイト

「ことまな学校サポートサイト」では、指導書に付属する各種データの他、指導や評価に活用できるさまざまなデータをご提供いたします。

- ☒ パソコンで DVD-ROM を読み込めない
- ☒ 複数の先生で指導書を共有している
- ☒ 授業に役立つ資料がほしい

このようなときにご活用ください。



ことまな学校サポートサイトでダウンロードできる資料

- 教師用指導書に付属の「データ資料集 DVD」収録資料の全部
- 「小倉百人一首」の朗読音声
- 古典教材の現代語訳（教科書に全訳を示していない教材・章段）
- 「矛盾」の書き下し文
- 単元ごとにまとめた教科書紙面の総ルビ PDF など

+ 教師用指導書の補充データ「総ルビ本文データ」

+ 漢詩の補充資料（教科書に掲載している作品の解釈・構成・現代語訳・語句の解説）

ことまな学校サポートサイトは、令和7年度版『現代の国語』『現代の書写』の指導書をご採用いただいている学校ごとの専用サイトです。ログインには、ID とパスワードが必要です。



三省堂 小・中学校 教科書
LINE 公式アカウント
はじめました！

授業のお役立ち情報を
定期的に配信中！



三省堂 〒102-8371 東京都千代田区麹町5-7-2

三省堂 教科書・教材サイト <https://tb.sanseido.co.jp/>

※この冊子は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って配布しております。